

研究授業のご意見

英語

手だて②	予想する生徒の姿
<p>相手に対する伝わり方が異なることを実感するために、漫画などのセリフを異なった表情やトーンで発音する。</p>	<p>・同じ文章なのに内容が違って聞こえる。 ・発音は同じなのに違うように聞こえる。</p>
<p>・洋画など動きがあるものを見せることで、プロの表情など学びが多いと思う。 ・ALTに見本を見せてもらうのも良いと思った。 ・今回の活動の原稿では活用できない感情もあった。 ・使用したセリフが良かったのか人権的な観点で考えるべき。 ・もっと感情がはっきり異なる漫画を使えばより分かりやすかったように思う。</p>	
<p>伝わりやすい話し方について考え、グループで協力してより伝わりやすい英語にしていくなために、発音や表情などに着目し、書き込めるワークシートを用意する。</p>	<p>・自分たちが思っている以上に表情が硬いね。 ・難しい表現を使ってしまっているね。 ・強調したいところにアクセントが落ちていないね。</p>
<p>・視覚的に分かりやすくなり、発音を意識しやすくなった。 ・表情と感情を結びつける支援があるとよかった。 ・グループで相談して書き込む子、個人で黙々と取り組む子がいた。</p>	
<p>小グループで動画を作成し、2チーム合同（大グループ）で協力する。改善前と比較して、よりよい動画を作成するために、お互いにアドバイスをし合い、動画を撮影しながら、活動を行う。</p>	<p>・表情を意識して話すと、伝えたい内容が分かりやすくなるね。 ・Aチームは表情の明るさを意識しているから、真似してみよう。</p>
<p>・「顔がこわい」というアドバイスはできていたが、それをどう改善するかは考えることができていなかった。 ・動画を見ると自分を客観的に見ることができてよかったが、改善点ばかりが出てしまい、自分を認めることができなくなっている。 ・原稿を読むことに必死で書き込んだワークシートを活用できてない子もいた。 ・内容についてのアドバイスをさせても良いと思った。 ・どのようなアドバイスが出たのかを共有した方が良かった。 ・パッとみてわかりやすく言いやすいアドバイスがたくさん出るので、原稿を相手に渡して見てもらおうと、何を意識しようとしているのかが分かりやすくなる。</p>	
手だて③	
<p>できるようになったことの実感を促すために、「話し方」を意識する前後の動画を比較した上で、【①分かったこと】と【④次に生かしたいこと】について振り返るように指示する。</p>	<p>①分かったこと 表情やトーンのの違いで、見ている人に、より伝わりやすい動画になることを実感した。 ④次に生かしたいこと 英語の文章では理解できないことも、動画にすると伝わりやすくなることの実感できたので、今後も表情やトーンを意識して英語を話すように心掛けたい。</p>
<p>・最初から振り返りを共有することにメリットはあるのか。 ・これまでの過程が確認できるような振り返りシートを使うと成長を実感できてよいと思う。 ・前時の振り返りと比較したらもっと書きやすくなると思う。 ・焦点を絞って振り返りを書かせているのが、自分たちの成長を実感できてよい。</p>	

授業者の振り返り

今回の授業では、動画を作成することや編集にこだわらず、英語で発表することに集中させました。自分の原稿に責任をもち、相手に伝わりやすい英語で話すことを目標として取り組ませてきました。カタカナ発音にならないようにしよう意識する生徒がとて多くなり、一定の成果を感じることができました。しかし、さらに上のレベルを目指して、トーンや表情を意識させたり、感情を入れたりすることは難しさを感じ、苦戦している様子でした。3年次に外国と繋ぐなど、本気で英語を使う場面を取り入れることを目標に、今後も伝わりやすい話し方にこだわって指導していきたいと思います。